

第2回グローバルビジネス拡大委員会

平成30年1月30日(火)、10:00-11:30、JISA 会議室において、平成29年度第2回グローバルビジネス拡大委員会が開催された。参加者は浜野一典委員長(富士通 FIP)、伊藤整一副委員長(網屋)を含む7名。

議事内容は以下の通り。

(1)委員長、副委員長挨拶

浜野委員長、伊藤副委員長よりそれぞれ挨拶が行われた。

(2)今年度の委員会活動報告

WCIT2017・ASOCIO2017(9月・台湾)、カナダ先端テクノロジーミッション視察(10月)、JISA-FKIIでの人材に関する意見交換会(11月、ソウル)に関して事務局より報告が行われた。

いずれのイベントも、海外企業の成長スピードが速いことが感じられ、今ではなく10年先の技術の変曲点を見据えて日本も技術を積み上げていくべきだという意見が出た。

(3)ASOCIO Summit 2018 準備進捗状況

本年11月に東京で開催する予定のASOCIO Summit2018の準備についてスポンサー依頼状況や、講演者の準備状況などを事務局より報告した。

(4)来年度のJISA 事業計画案

来年度のJISAの事業計画案における国際活動についての説明を事務局より行った。

(5)今後の国際関係活動予定について

以下のセミナー・会議等を予定していることを事務局より報告した。

4月 ASOCIO 実行委員会設立

5月 京交会(北京・中国IT産業展示会・セミナー)

6月 ASOCIO 役員会(ブータン)・日台企業交流会(台北)

7月 日韓セミナー(未定)・日中懇談会/セミナー(山東省済南市 調整中)

9月 ASOCIO スマートシティサミット(ハノイ)

10月 APICTA(広州)

11月 ASOCIO Summit 2018（東京）

2月 ベトナム ICT Day（東京）

(6)フリーディスカッション

今後の方針として、中国や韓国といったアジアでマーケットを拡大し続ける国を引続き注意してみるべきであり、アジアは既にオフショア開発先といった見方だけではなく、先端技術を開発できる構造を持つ国として注視していくべきであるという意見が出た。

日本は、その構造を見つめなおすため、本年訪れたカナダを見習い産学官が協力していくべきであるという意見も出た。

また、中国ソフトウェア業界協会（CSIA）とは交流を復活するという方針で合意。今後の運営体制・MOUを再度見直しするとともに、次回7月の懇談会／セミナーのコンテンツの吟味を次回委員会ですることとした。

以上。

